

平成27年度 まちづくり推進部 増田地域局 方針書

まちづくり推進部 増田地域局長 阿部 仁

1. 増田地域局の使命（役割）

- ①地域住民から信頼され、住民サービスの拠点を目指す。
- ②先人から受け継ぐ豊かな地域資源をさらに磨き横手市の宝とする。

2. 平成27年度における課題（前年度の振り返りから）

- ①重伝建選定により観光客は増加しているが、地域資源を有効に活用しきれておらず、また接客マナーの向上を図らなければならない。

3. 平成27年度の『スローガン』

歴史と伝統が息づく明るく元気な地域づくり

4. 年度目標となる方針（目標）

- ①住民との協働による元気な地域づくり
- ②豊富な観光資源の有効活用と受け入れ態勢の整備
- ③自助、共助による安心・安全な地域づくり

5. 重点取組項目

| | | |
|-----|------|--|
| (1) | 項目 | 住民との協働による元気な地域づくり |
| | 取組内容 | ①職員同士情報の共有を図り、また研修等に積極的に参加し自己研鑽に努める。 ②来庁者に対し元気にあいさつを行い、明るい職場作りを目指す。 |
| (2) | 項目 | 豊富な観光資源の有効活用と受け入れ態勢の整備 |
| | 取組内容 | ①重伝建選定を受け観光客が増加しているため、他地域と連携を図り横手市での滞在時間のさらなる延長を目指す。 ②街並み環境整備事業等まちづくりが本格化してくるため、地域住民との連携を強化し事業の円滑な推進を目指す。 |
| (3) | 項目 | 自助、共助による安心・安全な地域づくり |
| | 取組内容 | ①各地域センター、集落を核として、自助、共助体制の強化を図る。 ②三世代交流事業を通じ地区内コミュニティの醸成を推進する。 |

6. 方針に対する年度上期（4月～9月）の取組みの状況 【現状】

①住民との協働による元気な地域づくり

- ・機構改革により窓口の配置を若干変更したが、来庁者へ職員が積極的に声をかけるなどして大きなトラブル、苦情はなく経過している。
- ・職員が積極的に各種研修等に参加してスキルアップを図っている。

②豊富な観光資源の有効活用と受け入れ態勢の整備

- ・重伝建選定後来客数は順調に推移しており、（一社）増田町観光協会を中心として公開施設所有者と情報を共有しながら情報発信に努めている。

③自助、共助による安心・安全な地域づくり

- ・「三世代交流事業」を実施しながら地域内の共助についての意識醸成を図っている。

7. 年度下期（10月～3月）に向けた課題と取組みの方針【ギャップと対策】

- ・住民満足度の向上を目指し、住民に対し自ら挨拶をするよう努め元気な職場づくりを目指す。
- ・観光客の満足度を向上させるよう、公開施設所有者や地域住民で各種研修等を開催する。
- ・他地域、他団体と連携を図り増田を中心とした広域観光を目指す。

8. 総括 取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】

①住民との協働による元気な地域づくり

- ・職員同士で勉強会を行うなどして情報共有を図り、来庁者へ職員が積極的に声をかけるなどして来庁者が立ち往生することはなくなった。
- ・職員が積極的に各種研修等に参加してスキルアップを図っている。

②豊富な観光資源の有効活用と受け入れ態勢の整備

- ・重伝建選定（H25.12.27）後来客数は順調に推移しており、（一社）増田町観光協会を中心として公開施設所有者と情報を共有しながら情報発信に努めている。
- ・横手市増田生活環境施設「ほたる」（H28.4月オープン予定）建設によりさらに観光客の利便性向上を図る。

③自助、共助による安心・安全な地域づくり

- ・「三世代交流事業」を実施しながら地域内の共助についての意識醸成を図っている。（H27実績 42集落中27集落実施、昨年比1集落増）